



2017 年 1 月

第259号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 中塚 辰生
副会長 小口 多津子 多河 敏子
書記 久保田 貞視 小口 多津子
会計 長谷川 あや子
林外会長 並木 雍子
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清 多河 敏子
直前会長 長谷川 あや子

国際会長主題 Joan Wilson(カナダ) 「私たちの未来は、今日より始まる」
スローガン: 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」
アジア地域会長主題 Tung Ming Hsiao (台湾) 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン: 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事主題 利根川 恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」
スローガン: 「手を取り合って、今、行動を！」
あずさ部部長主題 浅羽 俊一郎 「あずさ部は財物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
クラブ会長主題 中塚 辰生 「クラブ活性化に全員が一步前進」

2017年1月 第一例会

担当B班: 辻、茂木、望月、並木、佐藤、久保田

日時: 2017年1月28日(土) 18:00~20:00

場所: 八王子市役所北野事務所 2階大会議室

受付: 辻、望月

司会: 久保田

開会点鐘

ワイズソング

ワイズの信条

聖書朗読・感謝の祈り

会食

卓話 「日本の財政はどうなるか」

講師 大東文化大学教授 花輪 宗命氏

スマイル

報告・連絡事項

YMCA報告

ゲスト・ビジターの一言

Happy Birthday

閉会点鐘

会長

一同

一同

並木

一同

茂木

会長・各委員長

担当主事 中里

会長

会長

巻頭言

「後期も、会長支援を、よろしく願い申し上げます」

クラブ会長・中塚辰生

クラブの皆様。新年を迎え、いろいろ抱負をお考えの事と存じます。

私事で恐縮ですが、昨年5月に姉が、7月に弟が逝去し「喪中」の為皆様方には、新年の挨拶を欠礼致し申し訳ありませんでした。

1月より後期に入り、当クラブの休会者が1名増え、3名から4名になり、「在籍者」が17名となりました。そこで、クラブ会長主題の、「クラブ活性化に全員が一步前進」を実践し、在籍者増を目指したいと思えます。

後期も引続き、クラブの皆様方の、会長支援をよろし

先月の例会ポイント (12月)		BFポイント	
在籍	18名	切手 (国内・海外)	1054g
メン	13名	累計	2069g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	72%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	10,415円
ゲスト	6名	累計	43,037円
ビジター	0名		
ひつじぐも	10名	オークション	0円
		累計	0円

(聖句)

「その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。」

(ヨハネによる福音書20章19節)

くお願い申し上げます。

当クラブの「全員が一步前進」により、部長からの宿題の「部の活性化」に寄与すると考えます。

(寄稿) 白羊会の今昔—中央大学YMCA創立百年の歴史とその軌跡から

中央大学YMCA白羊会副会長 塩野秀男氏

8年間の地方勤務から東京に戻った昭和45年、学園紛争の傷跡も生々しく母校の周囲は鉄条網が張り巡らされていました。まさに衝撃でした。中大Y百年史の記述からかろうじて休会状態が続く中でも会員の卒業生名簿の記録が残り、一方では白羊会が昭和32年以降活動してきたことも分かりました。中大のキャンパスが八王子に移る前の時代です。中大Yの上部団体に当たる文化部連盟の副委員長経験(4年生時代)の小生には、こうした惨状は到底信じられないものでした。伝統の長さ、会員規模、大学祭への出展内容と主張、聖書頒布会の適宜開催、対外活動への働きかけなどで中大Yは団体としても指導的立場にありましたから。入会は昭和30年ですが戦後の復興期に米国のキリスト教団体が食料を支援してくれたことから、キリスト教へのあこがれやYMCAのブランド力もかなりあったと思います。一時は4~500人ともいわれた在籍者数の伝説は昭和26~27年頃の事でしょう。1年生の夏季修養会では上級生はもちろん卒業の先輩も多く参加しており、聖書の読み方や教会への導きもあり、グループでの議論や意見発表なども活発でかなり鍛え叩き込まれました。最終日のキャンプファイアーでは歌の指導もあって、YMCAらしい青春期の楽しみ方も味わえました。特に先輩のよき導きと指導を得て様々な議論やグループ活動への参加経験が、のちの社会人としてもまた多くの団体運営でもリーダーシップの技法に役立ちました。中大Yの特性は先輩と後輩との良き絆づくりが伝統でした。10年以上にわたる14年の中央大学YMCA創立百年に向けての百年史編集の作業と刊行に至る共同作業もこうした伝統の賜物ともいえます。翻ってサークルひつじぐもが2000年に誕生する時期以降は、中大Yの仲田達男先輩のご尽力が良く知られるところですが、八王子ワイズの皆さんの長期にわたる尊いご支援と限りない慈しみは忘れることができません。今後はボランティア活動の面でも大いに評価され大学内の存在感を高められるよう、白羊会としても経済的な支援を続け、活動の円滑化のためにも更なる協力を惜しまずに努めたいと思っております。八王子ワイズの皆様のこれまで幾多の共同活動へのお誘いや呼びかけもあって成長できたひつじぐもへ、どうかお見守りとご指導よろしくお願ひ申し上げます。多くの感謝を込めまして。

2016年クリスマス例会

長谷川 あや子

2016年クリスマス例会は恒例の大学セミナーハウスで行われました。昨年5月下旬に予約し、11月例会後に担当A班で集まり、当日までの準備や役割分担など話し合いました。A班に担当主事の中里さんがいらっしゃるので何かゲームをして頂きたいという希望も持っておりました。11月中に懇親会の食事と飲み物の注文をし、あとは出席者をまとめるだけとなりました。セミナーハウスは新しい食堂も出来たのですが、ピアノやマイクを使いたいし、他のお客さまと重ならないように今まで通り旧食堂で行うことになりました。

第一部は交友館セミナー室で仲田達男メンによる奨励「いと高きところにホサナ」をキャンドルの灯のもとでお聴きしました。イエス・キリストの御誕生のお話ではなく、ご自分が十字架につけられることを自覚されてからの聖書のお話でとても印象深かったです。(司会:小口さん、奏楽:永町匡世さん) 第二部は食堂に移動し祝会です。(司会:山本さん)

テーブルを三つの島にわけて着席いたしました。メン13名、メネット3名でしたが、ゲストは中大学Yの大先輩である塩野さん、石井さん、休会中の酢屋さん、いつもピアノ演奏をお願いしている永町さん、以前も参加して下さった斎藤さん、渡邊さんの6名。中大ひつじぐもから10名、しかも今年はOBの大熊さん、原部さん、藤永さんも参加して下さいました。

乾杯は仲田さん、食事の後のピアノソロでは「恋は優しい野辺の花」など懐かしい曲をたっぷり聞かせて頂きました。又、メネット主導によるコーラスは鉄道唱歌の替え歌「我ら人生六十から」を大合唱(中大生はくすくす笑っていました)、そして昭和46年の大ヒット曲「翼をください」を心をこめて歌いました。ゲームは中里さんの出番! どんなゲームが飛び出すのかなと思いましたが、どうやら私たちの年代を考えて下さったのでしよう。手や足を使うゲームではなくて、知識と記憶力が試されるようでした。歴代首相の名をフルネームで書くなんてなかなか出来ないことがわかりました。

毎年、クリスマス例会でのスマイルは「多摩いのちの電話」に寄付しています。ささやかな寄付ですが少しでもお役に立てばと願っています。ひつじぐものOBから寄付があったのも嬉しいことでした。

ハッピーバースディの出席者がいないのは寂しかったですが、最後に皆で「ホワイトクリスマス」を歌い閉会となりました。

八王子ワイズメンズクラブ
2016年度クリスマス例会 記念写真集



近隣他クラブ訪問
松本クラブーアジア賞授賞式

久保田貞視

12月17日(土) 松本クラブの「第18回私費留学生小論文コンテストーアジア賞授賞式」が松本市深志神社梅風閣で開催され出席しました。出席者は45名に加えて留学生が12名で57名でした。既に18回目となり、プログラムは手際よく非常にスムーズに進行しました。選考委員の北村明也氏、光本恵子様紹介、北村委員長の選考講評、賞状・副賞の授与の後、受賞者スピーチは最優秀賞者と2名の優秀者により、自分のテーマに関わるスピーチがありました。祝辞は信州大学グローバル教育推進センターの佐藤氏、松本大学国際交流センター係長の関沢氏、浅羽あずさ部長と続きました。

今回のテーマは、「人生の豊かさとは?」「留学によって

切り開く私の人生」に分かれており、留学生はそれぞれ自分の意見を立派な作文で表していました。

第2部のプレゼンテーション「アジアのひとつ」は優秀者と佳作の留学生が自分のテーマに関係した思いをそれぞれ発表しました。入選された各留学生の作文の内容は日本人学生顔負けの優れた作品が多く、留学生の人生に対する真剣な考えが伝えられ、感銘を受けた参加者は多かったと思います。この授賞式の作文はワイズメンズクラブの全員に是非読んでほしいと思ったほどです。

第3部のアジア留学生交流会では、出席者と留学生との交流で、私の相手のモンゴルの留学生は大学院でロボット工学を学んでおり終了したらロボットを母国に取り入れたいと言っており、中国の女子留学生は心理学を学んでおり、大学院まで行き心理療法を母国で生かしたいと、それぞれ夢を語っていました。

このように、松本クラブの小論文コンテストの実施は留学生にとって貴重なもので、彼らは卒業後、日本との架け橋となるものが多く輩出すると信じています。

迎春納福 平安如意



IBC交流 台湾 高雄ポートクラブより

中大・学Y便り

委員長になって

2年 須郷利貴

時の流れは速いもので、大学生活の半分が終わろうとしています。今までの大学生活を振り返ると、ひつじぐもでの活動が私を大きく成長させてきたと実感しております。そして、このたび委員長になり、ひつじぐもを担う立場となりました。私が大きく成長することができたこのひつじぐもをよりよいものにするために、精一杯尽力させていただきます。

さて、このひつじぐもでの活動において一番成長したことを実感したのは、八王子ワイズからの推薦をいただき、IYCに参加したことです。中大ナイトでご報告した通り、私はIYCでは「チャレンジ精神」を獲得してまいりました。外国のユースと議論をし、そのリーダーシップを発揮している様子を目の当たりにした結果、チャレンジしていくことの大切さや、チャレンジしていった先に得られるものの大きさを実感しました。八王子ワイズの皆様から暖かいご支援を受け、IYCに参加したことは私の人生の中で最も感銘深い出来事でした。このたびは本当にありがとうございます。

IYCに参加する前では、委員長に立候補するということは考えてもいませんでした。しかし、IYCで得た経験を皆に還元したいという想いや、ひつじぐもをよりよいものにしていきたいという想いから、委員長になることを決断いたしました。そして、私の使命は以下の2つだと思います。皆がひつじぐもを好きだと言えるようなものにする。皆にとってひつじぐもが心地よい居場所となるようにすること。この2つが実現するよう、この一年間精一杯努力していきたいと思います。

最後になりますが、八王子ワイズメンズと中央大学YMCAの良好な関係が今後も築かれていくことを願っております。世界的に見ても、このようなワイズメンズとYMCAの良好な関係は貴重な例ですので、今後も良好な関係を築き、両者にとって学びの場となることを世界のワイズメンズ、そしてYMCAに発信することを願います。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

西東京センター便り

中里 敦

ブリテンが発行される時、年末のキャンプも無事に終えて新しい年を迎え、今回のキャンプはどうだったのだろうか？と考える暇もなく年始のプログラム、通常活動が始まっていることでしょうか。皆様はどのように年末年始をお過ごしになったでしょうか。

そのような西東京センターの多くの活動はリーダーの存在が欠かせないことをご存じかと思います。リーダーたちは、子どもたち、障がいのある人たちのために、何かできないだろうかと集っています。教える立場ではなく、寄り添い、共に悩み考える存在です。そんなリーダーたちはボランティアであり報酬はありません。活動数などにより様々ですが、交通費、リーダートレーニング、キャンプなどに必要な物をそろえたりすると年間でもかなり多くの費用を自己負担で行っています。生活を切り詰めたり、学校とリーダー活動の合間にアルバイトをしながらリーダー活動を続けています。それでも子どもたちや障がいのある人たちにより成長させられている自身に気付いた時、リーダーたちは、YMCAでのやりがいを感じていきます。また、同じ思い、同じ価値観を共有できる仲間がいることに喜びを感じることもリーダー活動を続ける楽しさとなっています。報酬はなくても、子どもたちや障がいのある人たちの成長に携わり、豊かな生活が送れることに寄与することにやりがいを感じ、そして、自身が一緒に成長できることが、お金では買えない、今の、これからの自分に必要なものだと思っています。

新しい年もリーダーが成長できる場を増やしていきたいと思っています。そのひとつとして、リーダーが読んだら活動に役立つと思う本を置いときます。今回は、知的障がいのある人が自身の思っている、感じていることを書いた本です。他にもセンター独自のトレーニング、自己負担の軽減などしていきたいと考えています。ワイズの皆様にもぜひお力をお貸しいただき、共にこれからの社会を背負うリーダーをお支えいただければ幸いです。

(お 話)。

新年おめでとうございます。今年は大変な年になる気がします。今迄の考えが根本から問い直される年になるに違いないからです。それがいい方向に向くものかどうか保証の限りではありません。あまり希望は持てない気がします。

変動の激しい時に大切なことは原点に戻ることでしょう。聖句はイエスが十字架にかけられて後、イエスが葬られた墓地から忽然と姿を消してしまったので、弟子たちがユダヤ人たちに疑われて捕らわれるのではないかと恐れ、皆で隠れ鍵までかけて息をひそめていたというのです。

鍵までかけておいたのにイエスが皆の真ん中に現れ「平和があるように」と言われたというのだ。この表現だとただの挨拶言葉のようだが、イエスは弟子たちに平和を保障されたのだとの意見があります。平和は無責任に望むだけであるものではないのです。イエスは力強く「あなた方に平和がある」とおっしゃったのだと読むべきでしょう。平和はイエスに従って行くところにこそあるのです。

仲田 達男

新年特別講座

卓話者

花輪 宗命氏 (大東文化大学 経済学部教授)

【担当科目】 「財政」「地方財政」

【所属学会】 日本財政学会 日本地方財政学会 理事
日本不動産学会 監事

【最終学歴】 東京都立大学法学研究科修士課程修了
オックスフォード大学経済学研究科修士課程修了
日本大学経済学研究科博士後期課程修了

【職歴】1973年4月～2000年3月 東京都庁:主税局主事、
企画審議室主査、教育庁副主幹(八王子青年の家所長)、
在パリ東京事務所長、清掃局ごみ問題対策室副参事、総務
局研修課長、生活文化局外事課長、衛生局参事(青梅看護
学校長)

2000年4月～2017年3月 大東文化大学経済学部教授

2006年4月～2007年3月 University of Oxford
Visiting Fellow

2014年4月～2016年3月 大東文化大学経済研究所長

【主な研究業績】

・「平成合併の財政効果」

『経済論集』第100号

・「新たな財政情報が解明した八王子市の財政状況」

『自治体の財政分析』第15号

・「中央政府に対する信頼の役割とその決定要因」

『経済論集』第95号

【主な著書】

・「財政学総論」(共著 2001年、中央経済社)

・「都市の土地課税論」(共著 2000年、住宅新報社)

【地域連携活動】

・地域デザインフォーラム

(板橋区と大東文化大学の地域連携共同研究)

・行政評価委員会： 朝霞市(会長)、戸田市(会長)、
東松山市、板橋区

・総合振興計画審議会： 和光市(会長)



花輪 宗命氏

次年度のワイズ担当を引き受けて

1年 坂本 菜美

新しくワイズ担当になりました、経済学部経済学科1年の坂本菜美です。

自己紹介として、自分のことを少し書きたいと思います。私は行動経済学を学びたかった為、大学に入学しました。しかし、残念なことに行動経済学の授業が2年生からのみだったのです。この1年生の時期に自分は何に力を入れようか、行動経済学以外に夢中になれるものは無いのか、と考えた結果、TOEICの勉強とサークル活動に励むことにしました。

中学生の頃父親の転勤で英国に2年ほど住んでいました。その時から洋楽が好きで、英語は得意なほうです。TOEICについては、大学にて無料でIPテストを3回受験する機会があり、最後の10月のテストで795を取ることができました。来年は860という数字を目指し、より励もうと思います。またテストで通用する英語力ではなく、実際のビジネスの場などで通用するような英語力を磨いていきたいと考えています。

サークル活動、主にひつじぐもでは5つの活動に参加しました。児童館訪問、八王子生活実習所訪問、アジア学院、熊本地震街頭募金、そしてワイズ例会です。

こうして見ると、この年は様々な新しい活動に取り組むことが出来た年になったと感じます。どの活動を通して、毎回新しい視点に気づくこと、新しいことを学ぶことが出来ました。自分が偏見を持っていたこと、裏方の仕事の大変さ、自分の英語力は実際には通用しないこと、チャレンジする勇気が自分を成長させてくれることなどが挙げられます。特にワイズ例会では卓話で貴重なお話を聞くことができ、毎回参加するのが楽しいです。これからも継続的に参加し、魅力を後輩たちに共有していきたいと考えています。また白門祭の担当にもなりましたので、来年度こそは皆様を中央大学に招待できるよう努めます。八王子ワイズメンクラブの皆様と中央大学ひつじぐもとの交流をより深め、より良いものにするべく、誠心誠意役目を果たし、最善を尽くします。どうぞ一年間よろしくお願ひ致します。

報 告

第二例会

日時：12月24日(土) 18:00~19:45

場所：北野事務所

出席者：中塚、小口、長谷川、山本、茂木、久保田、多河

1. 報告事項

- ① クリスマス例会会計報告(長谷川ワイズ)
参加者・メン13名、メネット3名、ひつじぐも10名、ゲスト5名 計32名
収入75,500円 支出105,840円
収支差額 -30,340円 クラブ会計より補助
・スマイル10,415円 多摩いのちの電話に寄付
- ② クラブ会計中間決算
収入 724,444円 支出 721,943円
収支差額2,501円(詳細は前期会計報告参照)
- ③ 後期半年報報告
2016. 7.1 会員18名 2017. 1.1 会員17名
休会会員：田中寛、橋本秀昌、酢屋善元、松本淑子
- ④ ブリテン送付先：送付先を再検討する。
- ⑤ 今後の予定
・在京ワイズ新年会1月7日(土)
出席者：中塚、長谷川、小口、茂木、並木、多河、久保田、中里 8名
・東西交流会：2月4日・5日 東山荘
出席者・長谷川、久保田

・2月11日(土) 第2回あずさ部評議会(東京サンライズ)
2月の第2例会は本評議会とする
2月25日(土) メネットナイト例会 北野事務所
3月4日(土) 街頭募金 集合12:30 JR八王子駅北口
3月4日~5日 次期クラブ会長・部役員研修会(東山荘)
出席者：小口次期会長、長谷川次期事業主査、久保田監事
3月11日(土) 第19回チャリティーコンサート
チラシ・チケット各人に配布。10枚以上売ること
司会は佐藤信也ワイズに依頼する予定。

2. 討議事項

- ① DBC大阪セントラルクラブとの合同例会
今期は、大阪セントラル担当で実施する。
次期以降について討議した結果、継続することにした。
- ② 1月28日(土) 1月第1例会でのオークション中止
- ③ あずさ部長よりの3項目の宿題：各自が会長に提出し、
- ④ 次期会長選出
中塚会長より小口副会長を推薦し、小口次期会長と決まる。

***BF2016年12報告**

切手：国内 809g(津田さん、久保田)
海外 245g(久保田) 累計2069g
プルタブ 11.4kg(茂木、調さん) 累計18.15kg


*** 老人デイサービスセンター鑑水***

【報告】12月15日(木) ペーパーフラワー14:00~15:00
参加者：赤羽、石井、色川、下重、多河、山口、山中、茂木
【予定】ペーパーフラワー
1月19日(木) 14:00~15:00

<西東京センター 主な行事予定>

1月 10日(火)・17日(火)
ボイストレーニング@西東京センター
ボイストレーニングは、こんな方にお勧めです!
カラオケがうまくなりたい・楽しく健康になりたい・
認知症が心配なので予防をしたい・体脂肪を燃焼させたい。

2月 26日(日)
講演会「発達障がい児・者支援」@山手センター
年齢に応じた対人関係の困り感への支援とその実際について、早稲田大学の梅永雄二氏に講演をいただきます。
◆時間：14時~16時 ◆参加費：1,000円



1月の誕生祝い	
佐藤 信也	1月 1日
佐藤 正子	1月 9日
橋本 恵美子	1月 11日
並木 信一	1月 20日